日本共産党久喜市議団　No.179

市議団ニュース

連絡先　　2020年9月6日号
杉野　修　58−9010　渡辺昌代　21−9058
石田利春　52−7260　平間益美　23−9519
【議員団控室（市役所5F）の住所・久喜市下早見85−3】
「**日本共産党久喜市議団ブログ**」更新中です

主な項目・特徴的な項目

（要旨）

◇プラスチックを燃やすことは、地球温暖化を加速することになる。政策的な大後退である。大型炉の建設はしないこと。
◇自然災害等から市民の生命を守る対策を求める。「広域避難」の訓練を進めること。コロナ対応の避難所運営の体制を。
◇個人の尊厳を守り、ジェンダー平等の久喜市行政を求める
・性的少数者に対して公平に。パートナーシップ条例の制定を
・職員間でのセクハラ、パワハラをなくすこと。
◇済生会栗橋病院には、加須市に移転後も支援を継続すること
◇循環バスとデマンドバスで久喜市全体を網羅する見直しを。
◇各総合支所、福祉センター、学校プールを始めとする、公共施設の統廃合は市民合意がなく、問題がある。整備計画は「住民サービスの向上」を優先基準とすること。
◇南栗橋地域の液状化対策は、モニタリング調査を継続すること。
◇コロナ禍の今こそ、３０人以下学級でゆとりある教育を。
◇東京理科大跡地の利活用は、「子ども図書館」「子育て支援センター」「児童館」「家具等のリサイクル施設」復活協議をすること。

新年度予算要望書を手渡す

９月２日、梅田市長に要望書を手渡す、議員団と共産党久喜市委員会のみなさん。

９月２日、日本共産党久喜市議団と久喜市委員会のメンバーは、多くの久喜市民から寄せられた要望をまとめ、２０２１年度からの実施を求めて予算要望書を梅田市長に手渡しました。コロナ対策を進めながら、福祉向上や、町づくり、災害対策強化など、行政課題は、『待ったなし』です。
参加者から出された要望に、梅田市長は「しっかりと受け止めます」と答えました。

農業集落排水→公共下水道に接続へ　県内初！

北中曽根地区農業集落排水処理施設の外観（内部に浄化槽）

久喜市の下水道処理は、公共下水道、農業集落排水(農集)、合併浄化槽と 3 つの手法で処理されています。農集は旧久喜市と菖蒲地域で 18 箇所の処理施設があります。

国や県では、施設の老朽化と人口減少が進む中、農集を公共下水道に接続する方向性を示し、久喜市でも取り組んで来ました。今回、公共下水道管が敷設してある一番近い農集施設、北中曽根地区(1998 年供用開始、241 件 752 人)を 2021 年度(令和 3)に接続することになりました。接続にかかる工事費用は 3432 万円です。

各家庭の使用料はどう変わるのか、接続料の負担はなく、使用料は大幅に下がります。参考事例をご参照ください。

地方公営企業会計に移行

2021 年度から、農業集落排水事業の会計処理を、地方公営企業会計に移行することも明らかになりました。自らの経営・資産等を正確に把握するためとしています。

公営企業に移行すると、経営の「赤字」を理由に「使用料の値上げが必要」と迫られることがあります。そもそも、下水道整備は、環境整備事業でインフラ整備です。公共事業として位置づけ全体の税金で対応すべきものです。今後も注視していきます。

農集→公共下水道へ移行した場合の参考事例（２ヶ月税込）

農集			公共下水道	
２人世帯	6,424 円	→	平均使用水量　36 ㎥	3,344 円
３人世帯	7,436 円		平均使用水量　46 ㎥	4,334 円

９月議会の日程

8 月 31 日	月曜日	議案の上程　先議議案の討論採決
9 月　4 日	金曜日	一般質問　平間議員　2 番目
9 月　7 日	月曜日	一般質問　石田議員　2 番目
9 月　9 日	水曜日	一般質問　渡辺議員　1 番目 杉野議員　4 番目
9 月 10 日	木曜日	一般質問
9 月 14 日	月曜日	議案質疑
9 月 15 日	火曜日	総務財政市民常任委員会・杉野
9 月 17 日	木曜日	福祉健康常任委員会　・平間
9 月 18 日	金曜日	建設上下水道常任委員会・石田
9 月 23 日	水曜日	教育環境常任委員会　・渡辺
9 月 30 日	水曜日	最終日　討論・採決

一般質問

暮らし応援でコロナに立ち向かおう

杉野おさむ

久喜市桜田３丁目
７－１－５０４

９月９日
水曜日の
４番目

１「無料低額宿泊所」を久喜市独自で設置を

埼玉県内には、７６の施設が NPO によって運営されています。「お金も行く宛てもない」と途方に暮れる生活困窮者がいて、生活苦の原因はさまざまです。生活保護を申請してから、受けるようになるまでの間、すぐに受け入れてくれる無料低額宿泊所はありがたい。しかし、トラブルも少なくありません。市で設置を求めます。

２　LGBTQX・性的少数者に寄り添ったパートナーシップ条例を

第１は、「なんでもそうだん」で悩みに寄り添って聞いてほしかったり、的確なアドバイスを求める当事者に励ましの事業が必要です。第２に、多くの市民に啓発や、広報活動などで、理解を広げる事業も進める必要があります。創意工夫も必要。

第３に、行政上の制度で、明確に同性もパートナーだと位置付けることが必要です。制度化を、１１月に提案し、新年度から施行を。

３　コロナ禍を機に検査の拡充と暮らし補償。保健医療強化を

いま、第２波の真っただ中と言われています。攻めの検査を。

①障がい者にはコロナが特別の恐怖。同行援護などのサービス提供にも問題が出ています。聴覚障害者にはマスクで口元が見えず、不安です。②検査に向かうときの「専用車」が必要です。

③久喜市民感染の実態を把握し、「１検体５人分」のプール方式で PCR 検査を進めるべきではないか。県や，医師会と検討を。

④感染「震源地」エピセンター対策として、地域・企業に検査を。

平間ますみ

久喜市本町８－４－１

９月４日
金曜日の
２番目

１コロナ禍における学校教育の在り方について伺う

市内の感染者も増え、終息の兆しが見えてこない中で、小中学校の２学期が始まりました。児童生徒から感染者を出さないような対策が教育委員会には求められています。また、教職員の仕事量も負担が増えています。そのような中、少人数学級を求める声が全国的な高まりを見せています。

２子ども医療費を 18 歳まで無料化すべき

前市長も公約として掲げざるを得なかった子ども医療費の 18 歳までの無料化については毎年要望し続けています。子育て世代を応援していく政策を掲げている梅田市長の下で実施すべきです。

３難聴者の補聴器購入に市独自の支援を

昨年６月議会で補聴器購入条件の緩和を行い、購入の支援を行うべきと要望しました。その後多くの方から実現してほしいとの要望をいただきました。実現を求めます。

４パワハラ防止法の取り組みについて伺う

2019 年５月パワハラ防止法が成立しました。久喜市は令和２年６月に「久喜市職員ハラスメントの防止に関する指針」を策定しました。具体的な取り組みについて質問します。

石田としはる

久喜市栗橋東５－７－２

９月７日
月曜日の
２番目

1　コロナ治療に直接携わる医療関係者に久喜市独自の支援を

済生会栗橋病院や南埼玉郡市・北葛北部医師会は、コロナ感染者の治療やPCR検査など、リスクを背負いがんばっています。基金を活用しての支援を求めます。

2　新型コロナウイルス対策に伴う対応について

公共施設の貸出定員の基準、小中学校の換気対策に伴う環境整備など問います。

3　新型コロナウイルス感染に伴う市民生活の支援拡充を

消費税 10%の増税とコロナ危機で、家計消費は 30%以上落ち込み市民の暮らしは厳しさを増しています。水道料金の基本料免除期間の更なる延長を求めます。

4　大規模水害による犠牲者を一人も出さない取り組みは

大規模水害時の避難は、「自分自身で早めの避難」自助努力も大切ですが、市の果たすべき役割も重要、取り組みを問います。

5　済生会栗橋病院、移転後の病棟活用に向けた取り組みは

済生会栗橋病院は、病棟活用に向け自ら努力しています。現在の状況とともに、活用に向けた久喜市の財政的支援を求めます。

6　特別定額給付金、希望者にもれなく給付できたかどうか

給付の実績。家計支援を目的にした事業、評価を問います。

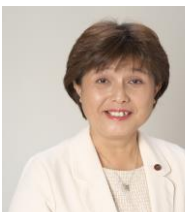
7　栗橋第一幼稚園跡地の活用は市民の要望に沿って実施を

解体後、市民が要望する公園設置など求め質問します。

渡辺まさよ

久喜市所久喜７０５－３

９月９日
水曜日の
１番目



1　これまで久喜市の衛生組合は、ごみの資源化と減量化に力を入れ、3Rの推進、リサイクルの推進を市民と共に進めてきました。しかし、今回の新たなゴミ処理施設の整備方針では、プラスチック全量、生ゴミ全量焼却が打ち出されました。

地球環境問題の解決は、CO2 の排出抑制が重要です。プラごみのリサイクルを進め、燃やすごみは減量し、SDGｓの目標に沿った施策こそ進めるべきで、今回の整備方針の転換を求めます。

2　「コロナウイルス感染症対に係る介護報酬の特例措置」により、通所系サービスや短期入所系サービスを利用すると、実際に利用した分以上に、利用料が取られ、負担増となっています。負担増分は本来公費負担とすべきで、改善を求め質問します。

3　東京理科大跡地は現在、教育委員会関係部署が公務を行っています。今後鷲宮総合支所に移動し、「現在の建物を公的利用はしない」方針が打ち出されましたが、子育て施設や市民の利用施設として活用すべきです。市長の考え方を問います。

4　清久工業団地・周辺地区の歩道の雑草・木々の繁茂がひどく、歩くのも困難です。早急に除草するよう求めます。

5　「久喜駅西口周辺まちづくり検討事業」の企業選定・調査内容・規模・スケジュール等の説明を求め、市民目線で質します。